

子ども記者が行く！ 三菱ケミカルってどんなところ？

～みんながKAITEKIに暮らせる、働ける会社の魅力を聞いてきました～



三菱ケミカルはこんなところ！

三菱ケミカルは、三つの会社があり、その三つの会社があつまってできたのが三菱ケミカル株式会社です。

長浜工場は、長浜市三ツ矢町にあり、プラスチック製品の製造や新製品開発に取り組んでいます。

浅井工場は、長浜市大路町にあり、滋賀における第二の生産拠点として一九七四年にはじめられました。

今回取材した山東工場は、米原市井之口にあり、液晶テレビやタッチパネル、包装材料などの幅広い用途で使用されているポリエステルフィルムを作っています。

山東地区の一番古い工場は、四十二年前の一九七八年に建てられました。

二〇一八年には、山東地区と浅井地区と長浜地区の三つの工場が一つになり、三菱ケミカル滋賀事業所が誕生しました。



三菱ケミカル滋賀事業所は、主に、ペットボトルのフィルムやダイアラック、ダイアホイルなどを作っています。最近では、新型コロナウイルスでフェイスシールドが足りなくて、クリアファイルを代わりに使っているのを見て、うすくて捨てる時も楽なフェイスシールドも作り出しました。



フェイスシールド

山東地区で基になるフィルムを製造



みんなが働きやすくする工夫があったよ！

工場内を歩いてみると、色々な工夫がありました。

もし他の工場から移動してきてもまちがえないように、他の工場と統一した表示の色を使ったり、危険な所を注意して見てもらえるように黄色や赤といった目立つ色を使っていました。他には、矢印なども使ってパイプの中の流れている方向を分かりやすくするなどの工夫をしています。

このような工夫をすることによって事故を減らし安全に仕事をする事が出来ます。



階段や高いところは黄色い柵で注意する



水が流れる方向を矢印で表示

「KAITEKI」(快適)

三菱ケミカル滋賀事業所ではこの言葉を合言葉に、誰もが気持ちよく暮らせることを大切にしています。

公害防止、ボランティア、健康、職場の環境など、家族と地域・社会、自分、職場への快適があります。

このような工夫があることで働きやすくなります。

使う人・作る人のことを考えて製品を開発しているよ！

三菱ケミカル株式会社では、PETボトルやタッチパネル用フィルム、食品の包装フィルムなど、さまざまなプラスチック製品が作られています。

最近では、新型コロナウイルス感染症対策のために、フェイスシールドも作っています。

フェイスシールド製作では、業者からの依頼内容をふまえ、医療現場の人たちが使いやすいよう、使用する際の課題などの声なども反映し、製品開発者の人たちも作りやすいよう工程なども工夫され、完成には、約1ヶ月半かかっています。



フェイスシールドが出来上がるまで

お客さんから製作依頼

検討

- お客さんが使いやすいための工夫は何か？
- 製品を作る人が加工しやすい工夫は何か？

使いやすいするために…
病院に行き、対策状況をかくにん
作りやすくするために…
製造現場に出向き、声をきく

気付いたこと

- 息で曇らないようにする必要がある
- ひまつを防ぐため、あごの下を囲う形に
- 捨てる時出来るだけ不要な部分が出ないようにする
- 加工しやすいようにシートを滑りやすく

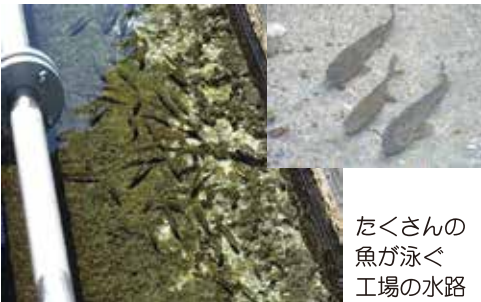


改良を重ね…

会社見学してみte感じたこと

三菱ケミカルでは「KAITEKI」という取り組みをしています。これは、「だれもが気持ちよく快適に暮らせること」という三菱ケミカルの目指していることです。三菱ケミカルでは「KAITEKI」につながるさまざまな活動を行っています。感心したのが従業員の健康のために、「KAITEKI体そう」を作って行ったり、スマートウオッチを従業員全員に配ったりと、いろいろ考えているところです。快適に働くためには健康でいることが大事です。三菱ケミカルは、そのことに気づいて、こういった工夫をしているのが、すごいと思いました。私は、自分をはじめ、みんなが健康に気をつけて快適に生活ができればいいなと思いました。

今回工場見学に行つて初めて知つたことは、工場内に、きれいな川があつて、魚がいたことです。環境のことも考えていて勉強になりました。この工場では、誰もが気持ちよく快適に暮らせるための公害防止についての活動をされています。その中で水をきれいにさせているため魚が住んでいることを知りました。家でも川にごみを捨てずに生活していいと思います。



この広報は、ボランティアきっかけ講座において、参加児童が作成した内容を一部加筆修正したものです。

発行：ボランティアきっかけ講座参加児童
社会福祉法人米原市社会福祉協議会